

議会だより

172

2019年5月1日発行

みよし



みどりを
まもるぞ!

- 平成31年度 一般会計予算 ▶ p.2
- 一般質問(11人が町政を問う) ▶ p.12
- みよしグリーンサポート隊へのインタビュー ▶ p.18

▶ 表紙写真に関する記事が18ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は8月1日の予定です。

福祉施策の充実を



安澤 豊委員

Q 学校水泳授業民間委託対象学校は

A 藤久保小学校の4年生が対象



増田磨美副委員長

Q 国保税率の協議をするのか

A 税率も協議する



本名 洋委員

Q 酸性雨の測定をなぜ止めたのか

A 環境検査研究協会と協議し決めた



吉村美津子委員

Q コンビニ交付でマイナンバー必要

A マイナンバーカードの普及を推進



内藤美佐子委員

未来を拓く政策実現へ

Q 議長車もリース対応とするのか

A そのように予定している



小松伸介委員



岩城桂子議長

特別委員会

注目

平成31年度三芳町
一般会計予算

平成30年度比

2億2395万円(1.9%)

の増額



慎重審議が行えた

山口正史委員長

Q PJ市への議員2名派遣の理由は

A 議員も行ってもらいたい町の思い



鈴木 淳委員

Q 平地林萌芽更新委託料の対象は

A 公募により決定する予定である



井田和宏委員

Q 農業遺産学会への人数減はなぜか

A 開催地変更（国内から海外）の為



細谷三男委員

Q 小中体育館の大型扇風機の購入は

A 4～5月には購入するようにする



久保健二委員

元号の表記について

2019年5月1日の改元に伴い、当号の議会だよりにおいて、改元以降の日付を示すもので元号が「平成」と表記されているものについては、「令和」に読み替えて頂きますようお願いいたします。

Q 竹間沢通西地区の勉強会の内容は

A 土地区画または、税金に関する事



細田三恵委員

予算特別 この 予算に

まちづくり
予算は
120億円！

一般会計予算 可決

主な歳入

項目	平成31年度 予算額	前年度比較	備考
個人町民税	21億6747万円	2988万円	給与所得者の増
法人町民税	6億9360万円	△4942万円	30年度の実績を見込んだため
固定資産税	37億2849万円	4837万円	土地は地目変更、負担調整、 家屋は新築家屋を見込み増額
地方消費税 交付金	8億4600万円	800万円	埼玉県の割り振りが増となったため
教育費国庫 補助金	4745万円	2856万円	小学校トイレ改修工事 唐沢小(1期)、三芳小等
ふるさと納税 寄附金	2億円	同額	

平成31年
第1回 臨時会
(1月12日)
第2回 定例会
(2月27日~3月18日)

主な歳出

空家等 現況調査

空家等を適正に管理するため、行政区単位において地域の空家等に関する現況調査を委託し、データベースの整備を図る
21万5000円



藤久保第3区 集会所建替事業

公共施設マネジメント基本計画に基づき老朽化集会所の建替をする

6252万1109円
藤久保第3区集会所
建替施工監理業務委託料
藤久保第3区集会所
建替工事



公共交通補助事業

75才以上の高齢者の移動を支援するため、タクシー運賃やバス回数券の購入費の一部を支援する

平成31年度に向けた一部制度の見直し
補助金額の見直し
補助金額上限：
上限5000円 → 上限6000円

タクシーの補助：
領収書1枚につき300円
→ 領収書1枚につき500円



1月12日に平成31年第1回臨時会が開催され、補正予算を含む議案6件を原案通り可決。また、2月27日からは第2回定例会が20日間
の会期で開催されました。今定例会では平成31年度の各会計予算を含む議案16件、発議2件、

同意4件が上程され、全て原案通り可決されました。また、住民提出の請願1件は、不採択となり、議員提出の意見書4件のうち2件が可決。一般質問では、11人が登壇し、町政に対する質問を行いました。

賛 討 成 論 三芳みらい

厳しい財政状況下、将来的な公共施設建設投資抑制のための新規予算が盛り込まれている。子育て、教育対策、みどり環境対策、遊歩道整備など住民の憩いと健康のための新規予算など、総合計画重点施策事業に多くの経費が計上され大いに評価する。更なる行財政改革の推進を要望し賛成する。

反 討 対 論 日本共産党

藤久保地域拠点施設基本構想は、公共施設の集約化や民間委託の方向が示されている。竹間沢通西地区の区画整理や、産業基盤整備推進検討業務、三芳スマートIC利便性向上事業など、企業誘致・開発優先の予算である。より福祉向上策を重視することを求め反対とする。

教育関係の主な予算

国際交流事業 (マレーシア・オランダ中学生派遣)

中学生海外派遣
生徒 10 人マレーシア
123 万 3360 円- (3 万円× 10 人) 93 万 3360 円
生徒 6 人オランダ
303 万 5551 円- (8 万円× 6 人) 255 万 5551 円



中学校 1 年生ヘルメット購入補助

交通安全への意識を高めるため、町内の中学校 1 年生に対し、自転車用ヘルメット購入の一部を補助する。

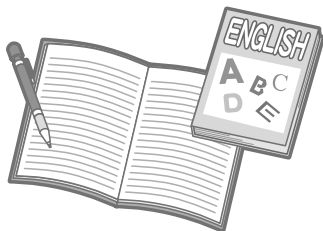
1000 円× 375 人
37 万 5000 円



英語検定補助事業

英語力を向上させる為に、実用英語技能検定 3 級以上の受験者（町内在住中学生）の保護者に対して、年一回検定料の一部を補助する。

補助金 2000 円× 350 人
70 万円



中学校 ICT 機器 維持管理事業

ICT を活用した授業を展開し情報活用能力や情報発信能力等を高める。

教育用コンピュータ借上料
1242 万 7776 円



小学校施設整備事業

良好な教育環境を維持するため、小学校施設の補修及び改修を行う。

1 億 4822 万 2000 円

改修工事

三芳小学校、唐沢小学校トイレ改修工事

三芳小学校プールろ過装置改修工事

竹間沢小学校非常放送設備改修工事

唐沢小学校特別教室空調設備設置工事

竹間沢小学校校舎トイレ改修工事設計業務委託

三芳小学校他 1 校校舎トイレ改修工事監理業務委託



本会議の審議結果

3 月 18 日定例会最終日に本会議を開催し、予算特別委員会委員長報告等の後、採決を行った結果、賛成多数で「**原案可決**」となりました。

賛 成 論

公明党

財政が厳しい中、証明書のコピー交付や空家等対策協議会の設置、不育症や新生児聴覚検査助成等、公明党が要望した事業が予算化された事は評価するが、持続可能な公共交通、全学校トイレの早期洋式化等も望まれている。今後も町民福祉の増進に尽力されるよう要望し、賛成する。

特別会計

国民健康保険

予算総額
37億9767万9000円
(対前年度比
2億4060万2000円減)

問 特定健診対象者数と受診率は。

答 6335名。2月末現在で受診者数は2486名で39.2%。最終的にはもう少し増えると思う。



介護保険

予算総額
25億9737万円
(対前年度比
2億1392万4000円増)

問 ホームヘルパーは確保できているか。

答 サービスが必要な方で提供されていない人はいない。

後期高齢者医療

予算総額
4億9422万円
(対前年度比
2108万円増)



下水道事業会計

・収益的収入
8億8009万円
・収益的支出
7億5622万5000円
・資本的収入
7449万円

・資本的支出
2億8356万2000円

問 平成30年度と大きく変わるころは。

答 公共下水道事業計画変更業務委託の他、修繕や更新の工事が発生している。

水道事業会計

・収益的収入
8億5120万4000円
・収益的支出
8億3428万6000円
・資本的収入
1億5754万8000円
・資本的支出
3億5430万8000円

問 自家発電設備更新工事の工期と金額は。

答 平成31・32年度の2か年。平成31年度は1億5437万4000円。総額で2億8014万8000円を予定している。

〔下水道事業の会計方式変更について〕

下水道事業は平成31年4月1日より地方公営企業法が適用される。それに伴い会計方式も下水道事業と同じ公営企業会計に移行する。そのため、本予算から公営企業会計となる。

*** 地方公営企業法適用の背景**

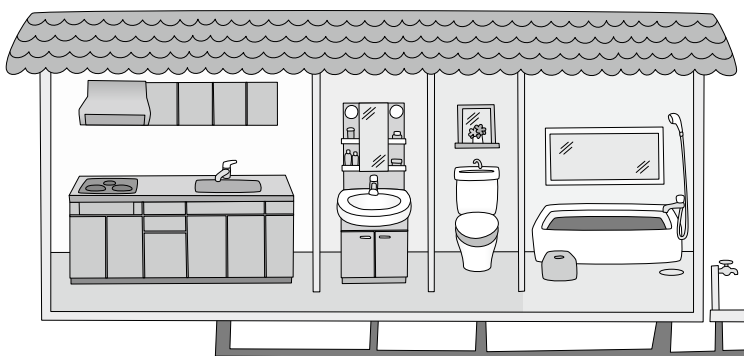
事業・サービスの拡充が求められた時代と比べて、人口減少社会の到来、節水意識の定着による処理水量の減少が見込まれる一方で、災害対策や老朽化した設備の更新等により多額の費用が予想される。今後も安定した下水道サービスの継続のために、下水道事業の経営及び財政状況、資産・負債の状況を的確に把握する必要性が求められている。

水道事業

・給水人口
4万5000人
・1日最大給水量
2万4000立方メートル

下水道事業

・排水人口
3万7500人
・1日最大処理能力
1万9500立方メートル



条例・同意

議案第11号

三芳町空家等の適正管理に関する条例

空家等の適正管理を促進することにより、住民の良好な生活環境を保全するとともに、安全で安心なまちづくりを推進するため。

議案第13号

三芳町芸術文化のまちづくり条例

芸術文化を活用した総合的な施策を推進し、魅力的なまちづくりを目指すため。

議案第14号

三芳町公共施設マネジメント基金条例

将来の公共施設の保全及び更新に要する費用の財源を安定的に確保するため。

議案第16号

三芳町立集会所条例の一部を改正する条例

北松原土地区画整理事業の換地処分に伴い、藤久保第3区第2集会所の地番変更。

藤久保第3区第2集会所
三芳町大字藤久保654
0番地へ改正。

左記の人事案件について同意を求められましたので適任と認め同意しました。

三芳町副町長

内田浩明氏



同意しました

三芳町教育委員会委員

長野真寿美氏

三芳町公平委員会委員

池上謙氏

三芳町監査委員

荻島詔氏

請

願

請願第1号

辺野古新基地建設に関し、政府に対し沖縄の民意を尊重し誠実な協議を沖縄県と行うことを求める意見書を国に提出することを求める請願。

請願者：三芳九条の会

〈請願趣旨〉

沖縄県知事選において、新基地建設反対を掲げた候補

補者が知事に選出された。また、県による埋め立て承認撤回に対し、国が不服審査請求し工事を再開したことは行政不服審査法の乱用である。民意を無視し、法を乱用し工事を進める事は民主主義と地方自治の否定である。工事を一旦停止し話し合いを求める意見書の提出を求める。

経過

本会議で審議し採決を行った結果、賛成少数で不採択となった。

細田議員

反 討 論 対 論

辺野古は「新基地」ではなく、普天間基地の辺野古への「移設」です。もちろん民意は尊重されるものでありますが、現在の近隣諸国の動向の現実から見れば、仕方がない事であり、むしろ受け入れる事こそが、平和に繋がると言う思いを持っている沖縄県民も多数存在するのも現実です。

意見書

意見書第1号

食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書

国内で発生する食品ロスの量は世界食糧計画が発展途上国に食料を援助する量の約2倍に上る。食品ロスを削減していくには食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図ることが重要で、国において総合的に推進するための法整備を含めたより一層の取り組みを進めることを求める。

提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)
- 農林水産大臣
- 経済産業大臣
- 厚生労働大臣
- 文部科学大臣
- 環境大臣

意見書第2号

妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書

妊婦は診断が難しい疾患等に見舞われる頻度が高く、診療には特別な注意が必要とし妊婦加算が実施されたが、関係者に十分な説明がない、投薬を伴わない処方に加算する等、問題が指摘された。妊婦が安心して医療を受けられるよう医師の教育や研修体制、妊婦に配慮した検討を求める。

提出先

- 内閣総理大臣
- 厚生労働大臣



補正予算

一般会計(第5号)

2681万円を追加し予算総額を125億8251万5000円とする。

(主な内容)

・ふるさと納税寄附金 2000万円
ふるさと納税見込み増額のため。



・農業支援事業

627万円
台風24号により、被害を受けた農家に対する施設の撤去及び修繕費用にたいする補助事業

・公園等施設整備事業契約
差益による減額

減額52万円
(仮称)北松原第3公園
実施設計業務委託料(藤久保6区)

・国際交流事業 269万円
こぶしの里施設改修工事

中学生海外派遣(オランダ)における経費

一般会計(第6号)

3245万円を追加し予算総額を126億1497万3000円とする。

(主な内容)

・プレミアム付商品券事業に係る事務経費等 261万円

平成31年10月より、0歳〜2歳児のいる世帯を対象に行う補助事業の事務経費

・体育施設整備等事業

108万円
総合体育館アリーナ床板の剥離事故により、緊急に改修工事を行うため

・予防接種事業

940万円
風しんの発病及びまん延を予防するため、昭

和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しんに関する追加的対策事業を実施する。



国民健康保険特別会計(第1号)

4797万6000円を追加し予算総額を4億8625万7000円とする。

後期高齢者医療特別会計(第1号)

37万4000円を追加し、予算総額を4億7351万4000円とする。

(主な内容)

・後期高齢者医療広域連合納付金 37万4000円

保険料軽減額の増分を県の広域連合に納める。被保険者増による増額。

介護保険特別会計(第3号)

802万9000円を追加し、予算総額を25億5324万7000円とする。

第1回臨時会

議案第1号

町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

議案第2号

教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

議案第3号

この条例は、人事院の給与勧告を踏まえ、町長及び副町長、教育委員会教育長の年間期末手当支給率を年0.05カ月分引き上げするため、提出されたもの。

人事院勧告に伴い職員給与について所要の改正をするもの。

議案第4号

平成30年度三芳町一般会計補正予算(第4号)
2407万円を追加し予算総額を125億5570万1000円とする。

(主な内容)

・県議会議員選挙執行経費 178万円
・町道幹線14号線用地取得経費 596万円
・三芳東中学校特別支援学級改修工事 299万円

日本共産党

反討 対論

町長及び副町長の期末手当の支給割合を0.05カ月分引き上げるもの、平成26年4月に消費税率が8%になって、町民の生活は厳しくなっている。町も国民健康保険税や介護保険料の値上げ、水道料金、下水道使用料も値上げを行った。町民に負担を強いた中での引き上げは認められない。

入間東部地区事務組合議会報告

平成 30 年

第 3 回臨時会が 12 月 21 日に開かれました。

本臨時会では、平成 30 年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算第 3 号が審議され、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 2056 万 8000 円を追加し、歳入歳出がそれぞれ 43 億 6451 万円となりました。

(補正予算の主な内容)

- ・工事請負費 バイオガス事業用水供給施設工事 1981 万 8000 円

平成 31 年

第 1 回定例会が 3 月 14 日に開かれました。

本定例会では、平成 31 年度入間東部地区事務組合一般会計予算が審議され、歳入歳出予算の総額が歳入歳出それぞれ 44 億 278 万 4000 円と決定しました。

(予算の主な内容)

- ・しののめの里指定管理科 1 億 272 万 9000 円
- ・ 38 m 級はしご付消防自動車 2 億 4520 万 461 円
- ・高規格救急自動車 2 台 7170 万 9000 円
- ・ 119 番通報訓練装置 69 万 7637 円
- ・ 119 番通報等に係る電話通訳業務委託料 35 万 6400 円



38m 級はしご付消防自動車

主に高所での消防活動を容易にするために製作された車両で、火災時等に高所に残り残された人の救出、高所からの放水活動及び警戒活動などを行います。(4WS・車高前後±100mm調整可能・マイナス角へ伏梯可能)

新しい地震体験車が納入されました。

地震体験車を更新し、全国の消防機関として初のリチウムイオン電池を搭載した環境対策型地震体験車を配備しました。体験室内に設置された大型モニターとスピーカーによるリアリティーある音響映像に加え、階層別地震のほか、過去に発生した地震及び想定される地震を含めた 8 種類の揺れを体験できる最先端の車両となっています。これにより、町内を含む各種防災訓練において、地震の怖さをより五感に訴え地震発生時の安全行動について、多くの住民に学んでもらうことができます。



議員の賛否公開します



◀ 詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。

○賛成 ×反対

平成31年第1回臨時会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党		輝		
			細田 三恵	安澤 豊	井田 和宏	細谷 三男	抜井 尚男	山口 正史	増田 磨美	本名 洋	吉村美津子	小松 伸介	岩城 桂子	内藤美佐子	久保 健二
■ 条例の一部改正															
町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	議長	○	×	×	×	○	○	○	○	○
三芳町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 平成30年度補正予算															
平成30年度三芳町一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度三芳町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度三芳町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成31年第2回定例会 審議結果		議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党		輝	
			安澤 豊	井田 和宏	細田 三恵	細谷 三男	山口 正史	増田 磨美	本名 洋	吉村美津子	小松 伸介	岩城 桂子	内藤美佐子	久保 健二
■ 平成30年度補正予算														
平成30年度三芳町一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
平成30年度三芳町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
平成30年度三芳町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
平成30年度三芳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
平成30年度三芳町一般会計補正予算（第6号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
■ 平成31年度予算														
平成31年度三芳町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議長	○	○	○
平成31年度三芳町国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
平成31年度三芳町介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
平成31年度三芳町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議長	○	○	○
平成31年度三芳町下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
平成31年度三芳町水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
■ 条例及び規則の制定・改正等														
三芳町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町空家等の適正管理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町空家等対策協議会条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町芸術文化のまちづくり条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○

平成31年第2回定例会 審議結果	議員名 結果	三芳みらい					日本共産党			公明党		輝		
		安澤 豊	井田 和宏	細田 三恵	細合 三男	山口 正史	増田 磨美	本名 洋	吉村美津子	小松 伸介	岩城 桂子	内藤美佐子	久保 健二	鈴木 淳
三芳町公共施設マネジメント基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町立集会所条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
学校教育法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町ゲートボール場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町道路線の廃止について	撤回													
三芳町道路線の認定について	撤回													
■同意														
三芳町公平委員会委員の選任同意について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町監査委員の選任同意について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町副町長の選任同意について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
三芳町教育委員会委員の任命同意について	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○
■請願・意見書														
辺野古新基地建設に関し、政府に対し沖縄の民意を尊重し誠実な協議を沖縄県と行うことを求める意見書を国に提出することを求める請願	不採択	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長	×	×	×
食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
主要作物種子法の復活を求める意見書について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	×	議長	×	×	×
国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	×	議長	×	×	×

議 会 活 動 日 誌

2月

- 5日 議会運営委員会
- 7日 厚生文教常任委員会
- 8日 第12回政策検討会議
- 14日 議会広報広聴常任委員会
- 19日 全員協議会
- 20日 議会運営委員会
- 22日 第6回政策サポーター会議

- 6日 厚生文教常任委員会
- 7・8・10・11・12日 予算特別委員会
- 13日 第13回政策検討会議
- 14日 平成31年入間東部地区事務組合第1回定例会
- 15日 議会運営委員会
- 27日 議会広報広聴常任委員会

3月

- 2月27日～3月18日 平成31年第2回三芳町議会定例会
- 5日 全員協議会
議会広報広聴常任委員会

4月

- 8日 議会広報広聴常任委員会
- 17日 沖縄県北中城村議会視察来庁



「三芳太陽の家」の建設基本計画は

公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ



問 新設の太陽の家は災害時の福祉避難所となるか。
答 建設予定地が役場敷地内であり、防災対策本部との連携が可能。福祉避難所としての整備を検討する。

問 医療的ケアの必要な重度心身障がい者の受入れは。
答 現在の利用者との共存や看護師・嘱託医の確保が必要となるので検討課題だ。

問 入浴設備の整備は。
答 施設スペースや費用面の課題があるが検討する。

問 非常時の停電を考慮して太陽光発電や蓄電池等の備えも必要では。
答 電源の確保は大変重要と考える。どのような電源にするかを検討する。

問 新設する太陽の家をどのような施設と位置付けるか。
答 将来にわたり障がい者福祉の拠点となるような施設となるよう整備したい。

学校教育の国際化

問 中学生マレーシア・オランダ派遣の教育的効果は。
答 日本や諸外国の文化や

伝統への理解を持たせ、人間関係を築く力を高める。

問 全小中学校に常駐英語指導助手（ALT）配置は。
答 中学校3校と小学校3校に1名ずつ常駐、他小学校2校は1名で分担する。

問 英語授業以外の学校諸活動にALTの参加は。
答 清掃や給食時等の諸活動に参加を推進する。

問 TGG（英語村）での研修を計画しては。
答 ALTの協力のもと、小5・6年生対象の三芳町版英語村を計画している。

問 雨漏りが確認されているが、構造躯体の内部調査や大規模修繕が必要では。
答 平成31年度にコア抜き劣化診断等を実施する。費用や公債費を考慮し、築30年時に修繕工事予定だ。



庁舎内で政党機関紙勧誘等禁止へ

三芳みらい
細谷三男
ほそ や みつ お



問 一般的に庁舎内での物品販売やセールスは、どのような手続きが必要か。
答 庁舎管理規則により、基本的には禁止行為だが、許可を得た場合に限り行うことができる。その時間帯は、昼休みの12時から13時に限られている。

問 庁舎内で町議員による職員への政党機関紙（赤旗）購読の勧誘が、行われていることを把握しているか。
答 そのようなことが行われているのは承知している。

問 どのような方法で行われているのか。
答 実態調査によると、休み又は終業後だが、いくつかの課では、執務室内で、機関紙の配付時や集金時に勧誘していたようである。

問 これらの勧誘、配達、集金等は、庁舎使用許可を経ているのか。
答 手続きは経っていない。

問 庁舎使用許可を経ずに行われていたとするならば、何故黙認していたのか。特定の党派への利益供与とはならないか。
答 慣例により行われていたため、特定の党派に利益供与を目的として行ってき

たとは考えていなかった。
問 職場での購読は、「政治的中立」を疑われる行為ではないか。
答 職務中の関係のないものの購読は、職務専念義務違反で禁止行為である。

問 庁舎内での政党機関紙勧誘、購読、集金等の行為は禁止すべきでは。
答 庁舎管理規則で問題があるのでは、やめるよう関係者に申し入れをしたい。

問 今後も、無許可で執務室に立ち入り、勧誘、配達集金等の行為をするのであれば、即刻やめさせるべきだと思いませんか。
答 現行規則等に基づいて庁舎管理上問題がある。今後関係各課に指示をする。



庁舎内での政党機関紙の勧誘等は許可されるべきではない



町の街路樹の整備・美化について

三芳みらい
細田三恵
ほそ だ みつ え



問 街路樹の整備計画は。

答 剪定は隔年で実施している。また倒木など危険性が高いと判断した場合は、計画に関わらず緊急的に伐採や剪定を行っている。

問 歩道上で大きくなり過ぎた樹木は根が大きくなり歩道のアスファルトを盛り上げ歩行者に危険だが、町内での箇所を把握しているか。

答 幹線14号線や竹間沢東辺りに見受けられる。

問 台風で被害にあったみらい通りの倒木の箇所について今後の計画は。

答 秋頃にさるすべりの木20本程度の植樹を予定。

問 花壇に雑草防止として黒いシートが敷いてあるが、今後どのようにして花壇として利用していくのか。

答 段階的にアスファルトにし高木用の柵のみ整備していく予定。

問 花壇の花植えボランティアの募集をしてみたいかがか。

答 環境整備の一環として花いっぱい推進事業を展開しているので引き続き募集していく。

芸術文化のまちづくりについて

問 アウトリーチの具体的な効果は。

答 以前に町内3中学の口ビーコンサートを行ったが各吹奏楽の連携が強化され毎年コピスにて開催され生徒の協調性、独創性が生まれた。よって芸術の普及、教育の向上連鎖反応を生み出している。

問 芸術文化の中には、絵画に関することも含まれるが、今後の取組みは。

答 町の芸術文化活動を包括的に行っていく上で、絵画を含む美術分野に関しても研究していく。

その他の質問

三芳町郷土かるたの制作について



事業施行前に十分な住民説明を

輝 木 淳
鈴木 じゅん



問 住民が行政とコンタクトを取るときに窓口となるのが町の職員。そんな町の第一印象を決める職員の勤務状況をみると課によって平均残業時間や有給休暇取得率も大きく違うが、職員配置は適正なのか。

答 定員適正化計画を踏まえ、効率的で機能的な体制を構築し、職員の能力開発と組織の活性化を図りながら適正な配置に努めたい。

問 平成30年度12月までに病気などを理由に1カ月以上休職した職員は8名とのことだが、その休職理由は。

答 傷病関係が3名、メンタル関係が5名、6名復職。

問 SNSや電話などによる勤務時間外の業務指示について町の見解は。

答 緊急時以外の利用は適当でない。職員からそのような相談があれば実態を調査し対応していく。

今後の事業について

問 藤久保地域拠点施設の計画策定にあたり住民説明会等を開催する予定は。

答 平成31年度以降に住民を含めた会議の開催や住民説明会などを実施して計画策定を進めていきたい。

問 藤久保小学校のトイレの洋式化は藤久保地域拠点施設構想のため、他校に比べて何年も先になってしまふ。児童や保護者に不公平感を感じさせないため、しっかりとした丁寧な説明が必要と思うが、町長はどう考えるか。

答 当初は藤久保地域拠点の完成まで延ばそうと考えていたが、改めて教育委員会とも検討していきたい。

問 三芳バザール賑わい公園はどうなるのか。

答 構想予定地域の方に営農に関する考えを聞くなどして検討していきたい。

その他の質問

幼保無償化について





教育環境整備、新しい防災教育を

公明党
小松伸介
こまつしんすけ



問 学校給食における食物アレルギー事故の状況は。
答 誤食や提供資料の不備、食材取違え等、事故はない。

問 アレルギー対応数は。
答 対応の申込者数は48名。

問 アレルギー対応状況は。
答 牛乳が飲めない場合はお茶・豆乳を提供。その他、アレルギーの少ない食材を選定する等、工夫している。

問 アレルギー対応食を実施するために必要な予算は。
答 初年度670万円。以降は毎年575万円と試算。

問 財政状況が好転したら対応食を実施したいとの事だが、好調である「ふるさと納税」を活用して対応食の実施を検討出来ないか。
答 今後しっかりと検討する。

問 小中学校の入学式が同日午前のため時間帯に配慮して欲しいとの声があるが。
答 中学校区で連携するよう校長会で伝えていく。

問 女子中学生の制服をスカートかパンツスタイルか

選択出来るようにしては。
答 今後の検討課題とする。

問 中学生が主体となる地域連携避難訓練の実施は。
答 災害時における中学生の役割を自覚出来るよう教育活動を行うと共に、主体的に地域連携避難訓練に参加する意識を育んでいく。

問 中学生向けの防災ガイドを作成しては。
答 防災教育の観点からも有効。関係各課と研究する。

都市基盤整備について

問 橋本医院前で発生した交通事故を受け、ガードパイプや道路照明灯の設置等、具体的な安全対策の考えは。
答 県警本部・東入間警察署と協議し、対応可能な安全対策を講じていきたい。

問 幹線15号線は交通量多く危険。拡幅や歩道設置は。
答 主要幹線で実施した交通量調査を基に、関係機関と協議し、拡幅箇所を選定。



幹線 15 号線
三芳団地付近



高齢者、弱者が安心して暮らせる街に

輝
久保健二
くぼけんじ



問 徒歩で行きたい時に行ける、歌いたい時に歌える高齢者施設の増設の計画は。
答 今のところ増設の予定はないが今後高齢者の人口規模に比して必要か否かについては慎重に検討していく必要があると伺っている。

問 利用者の少ない集会所等を高齢者施設として利用する等、検討出来ないか。
答 今後の施設の在り方については施設の総量の縮減、統合、整理、縮小を踏まえ協議していきたい。

問 グランドゴルフ人口増加を考慮し競技、大会が開催出来る規模のグランドゴルフ場の建設は出来ないか。
答 議員提案の新規建設の計画は今のところはない。

問 新規のグランドゴルフ場建設の計画が無理なら、せめて既存の緑地公園内にあるグランドゴルフ場の整備をすることは出来ないか。
答 雨水対策等を考えながら砂等を入れて修繕をしながら整備していきたい。

問 富士見市のように高齢者の方に乗車パス、特別乗

車証等持ってもらい、年間乗車利用回数、制限無し補助は出来ないか。
答 自治体運営のコミュニティバスであれば導入しやすいと思う。当町で乗車パス等の発行を導入するには民間事業者との調整が必要。今、当町で行っている補助制度の見直しの中で議員より提案のあった仕組みを含め事業者と調整を図りたい。

問 本田書店のある交差点から40メートルの区間が拡幅されているが、今後の幅員拡長の計画は。
答 朝夕の通学通勤時間帯は歩行者、自転車、自動車の交通量が多く延長する必要があると考えている。拡幅の延長に向けて進めたい。

その他の質問
①児童虐待、不登校児童
②光害防止LED照明について





教育委員会について

三芳みらい
山口正史
やまぐちまさふみ



問 最近、いじめや虐待などの不適切な教育委員会の対応が問題になってきている。最近野田市で起きた心愛さんの虐待死を例に質問する。この事件では小学校長が保護者への情報開示を即座に実施するとの念書を父親に提出し、その後父親が市に赴きアンケートの開示を要求し、市の学校教育部次長兼指導課長が念書と本人の同意書によりアンケートのコピーを父親に渡したとされているが、当町では。

答 コピーを父親に渡したことは個人情報保護条例に違反し、正しい判断ではなかったと考える。当町ではこのようなことはないと考えている。

問 当町委員会で学力向上取組みの先進地視察は行っているか。

答 教育委員会連合会の視察は参加したが、当町独自の視察は行っていない。

問 教育委員会からの事業提案等はあったか。

答 教育委員個人からの提案はなかった。

問 戸田市では教育委員個人からの事業提案等があり、「学び続ける教育委員会」を掲げて委員会活動を積極的に進めている。当町も委員会の改革が必要と思うが。

答 環境整備を図り、更なる委員会審議の充実が必要。

問 町長の見解は。

答 学力向上は重要課題と思う。町として積極的に取り組みたい。

問 小中学校生徒の学力向上の必要性を教育委員会委員個々人が認識しているか。

答 委員会で授業参観や学校から学力向上の取組みの成果の報告を受けるなど、学力向上の必要性は認識している。



地域防災力の強化について

三芳みらい
井田和宏
いだけずひろ



問 地域連携避難訓練の課題は。

答 アンケートの結果、マンネリ化、参加者が同じ、参加者の減少などが挙げられた。

問 今後の方向性は。

答 平成31年度は総合型防災訓練を行うが、地域独自の避難訓練は積極的に支援していく。

問 なるべく行政を当てにしない仕組みづくりは。

答 今後も自助、共助、近所が連携した取組みを推進していきたい。

問 庁舎の耐震性は。

答 新耐震基準により設計・施工されており、一定の耐震性は備えている。

問 災害時の役場機能をどう継続させていくのか。

答 三芳町業務継続計画に基づく災害対策本部として機能を維持するため自家発電設備を用いて当面は対応したい。

問 災害協定の現状は。

答 37団体と協定を結んでいる。

問 災害協定の今後は。

答 より多くの職種、企業と協定を締結することは住民の安心につながる。平成31年度は関東地方以外の市

町村との協定を考えている。

問 ボランティアや応援物資の受け入れ体制は。

答 町からのボランティアセンター開設要求により社協が担うことになる。応援物資の受け入れについては、地域防災計画や職員初期行動マニュアルに掲載されているが訓練等としてはいない。

問 受援計画を策定しては。

答 内閣府から市町村の災害時受援体制に関するガイドラインが示されているので、調査研究を進めていきたい。





高すぎる国民健康保険税

日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし



問 加入者の9割が所得300万円未満である。所得の低い人達に高額な国民健康保険税を背負わせているという構造的な問題がある。他健康保険組合に比べ税額が高額とは思わないか。

答 例外もあるが、同条件で比較すると高い。

問 平成31年度は税額の引き上げ協議の予定はあるか。

答 税率を含め、国民健康保険運営協議会で協議することになると思う。

問 収入の無い子どもにまで掛けられる均等割という算定方法は国民健康保険にしか無い。富士見市やふじみ野市が行っているような多子世帯減免を行っているか。

答 他市町村、県の動向を注視していきたい。

交通安全の取組み

問 三芳スマートICフル化における交通安全対策で「中長期対策」は供用開始後になるのか。

答 「中長期対策」は用地買収も関係する対策もあるのですぐには実施できない項目もある。一日も早く実施するよう各道路対策管理

者にお願している。

問 アクセス道路だけでなく、町内全体的な対策が必要では。

答 三芳スマートICフル化にかかわらず、交通量調査等踏まえ、関係各機関と協議、対策を実施していく。

問 高齢者の交通安全については、高齢者が車を運転しなくても移動できる公共交通充実の早急な取組みも必要と思うが。

答 現在、ライフバスの再編に取組んでいる。バス・タクシーの費用一部補助も実施している。今後、制度の見直しや新たな仕組みも含め、公共交通の更なる充実を図っていきたい。

その他の質問

投票率向上の取組みについて



歩道が未整備の県道



ずっと町に住み続けられる施策を

日本共産党
増田 磨美
ます だ ます み



問 平成30年末の高齢化率は富士見市23・9%、ふじみ野市24・4%、埼玉県平均は25%で三芳町27・7%となっており、高齢者が住み慣れた町で住み続けるための施策は喫緊の課題となっている。その中で認知症になった場合に手助けが特に必要と思われる独居高齢者に対する調査は急務では。

答 3年に一度行っている町の福祉ニーズ調査等、内容を分析すれば一人暮らしの情報を得られるのではないかと考えている。次回調査時には見ていきたい。

問 高齢者の居場所づくり、認知症カフェ等の必要性は。

答 必要な施策で重要だ。

問 具体的な展開策は。

答 まちづくりフォーラムで配布した集いの場マップに町内の居場所等が記載。ささえあいみよしの協議体の活動と共に住民の理解を得ながら今後も進めていく。

子育て支援策の充実を

問 放課後児童クラブ（学童保育室）の支援員は研修等を受けた有資格者か。

答 有資格者を配置するよ

う努めている。今後とも資格者確保に向け資格取得のための支援をしていく。

問 各学童保育室の待機児童数は。

答 平成31年4月からの希望者は全員入室となる。

問 町立第二保育所は4月の民営化に向けて引き継ぎ業務が始まっているが、三芳町第二保育所民営化ガイドラインに沿って進められているか。

答 合同保育、三者協議会が実施されており、ガイドラインに沿って進めている。

問 現在の待機児童数は。

答 国の待機児童定義が不明なため集計していない。

問 4月からの町内保育所入所待ちの保留者数は。

答 43名。内22名は管外。



藤久保学童保育室



日本共産党
吉村美津子
よしむらみ つこ

福祉の向上施策

障がい児・者入所施設 の増設

問 障害のある子の親は、「私があなきあとが心配」と切実な思いでいる。富士見市・ふじみ野市・三芳町の2市1町で入所施設を造るべきでは。

答 入間東部福祉会と協議したい。

学校給食費の無償化

問 群馬県では、35市町村のうち3分の2の23市町村が、学校給食費の一部補助や無償化を実施している。これからは全国的に広がっていくと思う。町でも実施すべきでは。

答 無償化への財源は大きい。国の動向を見ていきたい。

高校3年生までの医療 費無料化

問 保育の無償化により、町の保育への支出が減ったときには、高校3年生までの医療費を無料にしては。

答 検討していきたい。

タクシートの補助額の増 額等

問 75歳以上の高齢者へのタクシーの補助が300円から500円となる。今後は初乗り補助に拡大すると同時に、領収書添付の申請ではなく、フリーパス券の利用などに改善しては。

答 検討していきたい。

ランドセルやカバンの 重量を軽く

問 ランドセルやカバンの重量は、体重の10%以下が望ましい。そのような対応にすべきでは。

答 全校に指導する。

その他の質問

民間委託推進の第6次行政改革大綱アクションプラン問題について



傍聴席から
3月定例会を傍聴された方から
ご意見・ご感想をいただきました。

予算の配分について、様々な角度における要望があるかと思うが、その上で、どこに緊急性、重要性があるのか住民本位の視点で検討して頂ければありがたいと思います。

(藤久保 N・Mさん)

様々な質問と答弁にとっても勉強になりました。

(藤久保 W・Fさん)

原稿に沿って質問できるので、端的に質問してもらう方が理解しやすい。質問される方は、回答の得やすさも考慮して、事前にしっかりと読み上げ原稿を用意した方が良いかと思えます。(質問が重複していたりわかりにくい。)

(藤久保 A・Uさん)

3月定例会の傍聴者数

	日程	人数
本会議	2月27日 議案審議	2
	2月28日 一般質問	21
	3月1日 一般質問	48
	3月4日 一般質問	10
委員会	3月4日 (総務)	1
	3月8日 (予算)	1
	3月10日 (予算)	2
	3月11日 (予算)	3
	3月12日 (予算)	1

※傍聴が無かった委員会は掲載しておりません。

他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

(北永井 E・Aさん)

一般質問に対して、町の方もしっかりと答えているのに関心しました。議員さんも、町も、しっかりとがんばって下さい。議員さんのするどい質問よく勉強していますね。

(藤久保 S・Sさん)

環境大賞受賞おめでとうございます

みよしグリーン サポート隊への インタビュー



みよしグリーンサポート隊は、その活動が認められ平成30年度「彩の国埼玉環境大賞優秀賞」を受賞されました。今回は、「緑のトラスト保全第14号地」でみよしグリーンサポート隊の皆さんにお話をお聞きしました。

Q. 活動内容を教えてください。

A. 現在約70名の会員がいます。活動は、年間スケジュールを組み、毎月第3日曜日9時から12時まで行っています。毎回30名ぐらいの会員が参加します。平成31年3月までで延べ310名の参加がありました。特に力仕事の時は、町内企業の若い人が参加してくれるので助かります。今後も多くの企業の参加を望みます。

Q. 喜びを感じる場所はどこですか。

A. 下草刈りなどの活動をすることによってきれいになることに喜びを感じます。特にきれいにしたことによって今まで見られなかった植物、鳥、昆虫が見られるようになりました。気候や季節を肌で感じられることは素晴らしいことだと思います。

Q. 苦労しているところがあれば教えてください。

A. 木を切らなければならない時期にきていますが、運べないくらい大きな木もあり、木の活用、加工、例えば、薪、炭など木の始末に知恵を絞らなければならないと考えています。

Q. 今後の目標はありますか。

A. 緑を子どもの世代まで残していきたいということが一番です。この「緑のトラスト保全第14号地」は今後、生物のメカニズムなどを観察する場として活用していきたいと思います。また、自然の循環を活かしドングリから苗を育て補植を行ったり、堆肥置き場の設置を考えています。特に、落ち葉がゴミとなっている今、農家の協力を得ながら、落ち葉を掃き、堆肥にするなど落ち葉を活用していきたいと思います。

Q. 三芳町議会に対して要望はありますか。

A. 三芳町の雑木林を理解してほしいです。生物多様性だけでなく日本農業遺産認定の意味、意義を理解し、今後、この環境をどう残していくのか考えてほしいと思います。議員の皆さんには、雑木林の保全活動などを体験してほしいです。

みよしグリーンサポート隊は、「協働のまちづくりネットワークみどり環境グループ」の事業・活動実行部隊として平成21年10月より活動を始めました。その活動は詳細に記録されています。これからも引き続き緑の保全のために活動を続けていきたいと思ひます。

政策サポーター会議 提言に向けて活発な議論



平成30年度
政策提言テーマ

身近な緑を守り育てるための環境整備

提言書を林町長に手渡しました

平成30年度は、「身近な緑を守り育てるための環境整備」をテーマに、サポーターの皆さまと協議を重ねてきました。その提言の内容がまとまりましたので、2月22日にサポーターの皆さまと一緒に林町長に提言書を手渡しました。

町や住民をはじめ関係者が一丸となって保全や活用の取組みを進め、三芳町の貴重な財産である「みどり」が後世に引き継がれることを期待いたします。

また、平成29年度に提言した「地域の特長を活かした観光資源の整備」について執行側に進捗状況の説明を求めました。2月19日に行われた全員協議会において進捗状況等の説明を受けました。今後も提言した内容については、タイミングを見て進捗状況等を確認したいと思います。



三芳町の緑の保全の今後の方向性

三芳町政策サポーター会議アドバイザー 松原 健司氏
(淑徳大学教育学部こども教育学科学科長・教授)

2018年8月より2019年2月まで、6回の三芳町議会政策サポーター会議が開催されました。その内容は「身近な緑を守り育てるための環境整備」と題した提言書にまとめられ、2月22日に林伊佐雄町長に提出されました。この会議で抽出され、集約された課題は、「企業・学校・住民等がかかわる仕組みづくり」「担当部署の設置」「キャリア教育」「税制・寄付金等が集まる仕組みづくり」の4点です。そして、これらの課題に対して、「緑の保全・活用に対する町の考え方、方向性を明確にし、広く町民に周知する」「緑の保全・活用に特化した組織を設置する」「緑の保全・活用をさらに進めていくための拠点づくりを行う」「子どもたち

に対し環境教育を含めたキャリア教育を積極的に進める」という解決手法が示されるとともに、これらの手法の実施に当たっては、“期限を区切り計画を立て、その進捗状況を検証する”ことが提案されています。会議を通じて私が感じたことは、町には緑を守り育てる熱意と知識とアイデアを持ち、努力を続けておられる方々が数多くいらっしゃるということでした。町政に対しては、提言の内容を形あるものとして実現していただけるよう期待します。



住み良いまちづくりに向けて

総務常任委員会

総務常任委員会では、平成 29 年からの 2 年間の協議事項スケジュール表を策定して取り組んでまいりました。主な事項を報告します。

こぶしの里については、ほたる育成会より整備要望書が提出されていたことから、委員会において現地調査を行いました。湿地箇所であり、木柵等に腐食箇所が見受けられ、枯枝や落ち葉により、池及び水路によどみが確認されました。担当課では、定期的に整備をしていましたが、多くの方が安心してほたる観賞ができるよう、委員会として町に対し更なる整備の要望を行いました。その後は順次環境整備が行われています。

公共施設マネジメントでは、地域役員と共に集会所調査を実施しました。早期建設の集会所は、床材・屋根材の劣化や柱部分に白アリの発生を確認しました。また、集会所が複数ある区では、今後の維持管理も踏まえ、建て替えの際には統合の検討も視野に入れる必要性を感じました。集会所の更新計画については公共施設マネジメントアクションプランに記載されています。



栃木県高根沢町へ視察



町内集会所の現況調査

次に、公共交通については栃木県高根沢町の「デマンド交通・たんたん号」を、三芳スマート IC 周辺のまちづくりについては福島県会津坂下町の「道の駅あいづ 湯川・会津坂下」と群馬県藤岡市「道の駅ららん藤岡」を、それぞれ先進地視察を実施しました。町では交通空白地域解消のため、ライフバスの再編成を計画、併せて高齢者の自動車運転免許証自主返納制度や高齢者公共交通補助事業を実施していますが、安価で年中無休で利用できる高根沢町の「デマンド交通・たんたん号」は今後の町の公共交通構築に大いに参考になりました。また、「道の駅あいづ」「道の駅ららん藤岡」両施設とも地域拠点整備と活性化が目標であり、町が現在構想中の「(仮称) 三芳バザール賑わい公園」を検討するうえで大変参考になりました。

町民の皆さまから要望の多い交通安全対策については、計画策定するための交通量調査が実施されました。今後、これらのデータを基に、県道路課及び警察の交通課等々と協議を実施し、町全域の歩道整備計画が策定されます。

こどもの教育環境の さらなる充実を

厚生文教常任委員会

厚生文教常任委員会では、2年間かけて様々な課題を調査研究してきた主な活動内容と実績を紹介いたします。

●小中学校のトイレの洋式化に向けて計画的に事業開始！大きな成果に繋がった。

町内の小中学校のトイレの洋式化について調査研究をしました。埼玉県内で洋式化率が高い志木市は、大規模修繕工事に合わせてトイレの洋式化を計画実施し、小中学校共に90%を超えていました。一方、町内の小中学校のトイレの洋式化率は、現在のところ小学校26%、中学校25.3%となっており、低い状況でした。早速、町長へ要望書を提出し、結果として平成30年度予算計上が始まり計画的に実施開始となり大きな成果となりました。

●小中学校のタブレット型PCの活用についての要望書を教育長に提出

本町では、平成27年から各小学校にタブレット型PCが導入されています。そこで、小学校でのタブレット型PCの活用状況について調査するため町内の小学校を視察しました。平成31年度には中学校へのタブレット型PCの導入を検討していることから、子供たちの学力向上に繋がることを期待し教育長へ要望書を提出しました。



タブレット型PCの活用状況を調査



小中学校のトイレ洋式化の調査

●三芳町内の児童生徒の学習支援についての要望書を町長に提出

平成30年1月には、特に貧困家庭の子供たちに対して学習支援を実施している愛知県高浜市を視察、10月には町内で学習支援を行っている5つの団体との事前アンケート、意見交換会を実施し、町内の公民館に学習支援団体の利用できるインターネット接続環境の整備を要望しました。

●3月定例会で学力向上について調査報告

有効な手段を調査するため、先進的な取り組みとして「子ども土曜塾」及び「子ども未来塾」を実施している愛知県江南市を視察しました。本町でも学力向上の施策として学習支援員や教育支援員の配置、みらい、のぞみサマーチャレンジスクールなど町独自の学習支援を行っており、更に学力向上推進委員会を配置するなど取り組んでいます。しかしながら、さらなる学力向上の取り組みが喫緊の課題と捉え、教員の指導力、資質向上を図ることや各学校での保護者に対するセミナーを開催することなど、合計5つについて実行が必要と結論付け、有効な施策を早急に実施するよう教育委員会に求め児童生徒の学力向上についての調査報告としました。

身近な議会を目指して

議会運営委員会

三芳町議会では“開かれた議会”を目指し、これまで様々な議会改革を行ってきました。加えて平成 29 年度からは政策サポーター会議を開催し、住民参加型の会議として町に対して政策提言を行っています。今後更に町民の皆様にとって“開かれた議会”となり得るために、この 2 年間で、通年議会の開催、議員報酬や議員定数、委員会での義務化事項等、16 項目に渡って検討を進めてきました。

特に視察も行った議員報酬については、三芳町議会の議員報酬は県内町村の中では一番高い金額の月額 252,000 円であるものの、それぞれの県内で一番議員報酬の高い町村を集めた中では 47 都道府県中 31 位、関東エリアに絞った 7 都県の中では最下位、また近隣市と比較しても月額 10 万円程の乖離が生じている状況であり、以前に検討を進めてきた総務常任委員会の平成 27 年申し送り内容で『議員報酬は上げるべき』との結論に至ったものの、その後、具体的な検討が進んでおらず、改めて議会運営委員会



神奈川県葉山町へ視察

として適正な議員報酬について協議を行ってきました。視察を行った神奈川県葉山町では、首長と議員の活動量に応じた報酬の算定を行っており、こうした方法も含めて検討を進めると共に、委員会として議員報酬に関する町民との意見交換も実施し、町民の皆さまから様々な意見を頂戴しながら検討を進めてきました。委員会としては、三芳町特別職報酬等審議会が 12 年間開かれておらず、まずは審議会の開催が必要との結論に至り、町長に対して特別職報酬等審議会の開催依頼を行い、議会運営委員会としての検討を終了としました。全国的には議員のなり手不足が叫ばれておりますが、議員報酬以外にも有効な手段を模索しながら、三芳町の将来を見据えて、幅広い世代や業種から議員に立候補出来る環境整備を進めていきます。

今後も更に議会改革を推進し、町民の皆さまに親しまれる議会づくりを行っていきます。



議員報酬についての意見交換会

新しい議会だよりに挑戦

議会広報広聴常任委員会

議会広報広聴常任委員会ではこの2年間、読み手（町民）の側に立ったわかりやすい広報を目指し工夫してまいりました。審議結果だけでなく、討論や質疑及び審議結果を掲載し、議会活動の内容を町民へわかりやすく伝えるよう、委員一丸となって活動してきました。



●読まれる議会だよりを目指して

読者である町民に手に取ってもらえるよう、町民にとって関心の高い情報はなにか、議会が伝えなければならないことは何かを考え、企画記事を検討してきました。また所管事務調査では、議会だより先進地の埼玉県寄居町、山形県川西町に調査へ行き、町民参加の広報、写真の使い方、ストーリー性のある議会広報を学びました。



寄居町へ視察

●町民との意見交換会「ふれあい座談会」

ふれあい座談会（議会報告会）は、議会が住民福祉の向上にその役割を果たしていくため、住民とともに地域社会の活力ある発展を目指すものであり、議会活動の状況を地域に出向き住民に直接報告・説明し、議会活動に対する意見等、さらには町政に対する提言などを話し合う場を設けました。



ふれあい座談会

●町民の意見、要望を糧に「議会だよりモニター」設置へ

議会が行う広報・広聴活動の基となる三芳町議会の広報の企画・編集等に関し、広く町民から意見や要望を聴取し、より内容の充実を図るため「議会だよりモニター」制度の創設について協議をしてきました。平成31年度より「議会だよりモニター」制度が開始されることと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。



議会だよりに関する意見交換会

新たな議長が 就任しました。

前議長の議員辞職に伴い、議長選挙が2月27日の3月定例会初日に行われ、議長に岩城桂子議員が就任しました。



右 岩城桂子 議長
左 井田和宏 副議長

町の住所をわかりやすく ～総務常任委員会で要望書を提出～

住所をわかりやすくするために、今後計画的に市街化区域における住居表示による住所の整理を行うため、一定期間をかけて検討を行うと議会に対し説明がありましたが、その後の進捗を確認できない状況です。

住居表示を実施するには多額の予算も必要になるかと思われませんが、住居表示を行うことにより、住所を探すことが容易となり、緊急車両の到着が早くなるなど、地域に住む住民の皆さまには多くのメリットがあります。

そこで、土地区画整理事業が終了している地域だけでも早期に住居表示を実施するよう、町に対し要望しました。



<https://www.facebook.com/miyoshimachigikai>



次の議会定例会は

6月6日 (木)

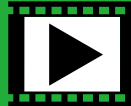


開会の予定です



皆様の傍聴を
お待ちしております

▶ 議会の動画を 配信しています。



議員の一般質問等の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、下記URLにアクセスしてください。

三芳町議会 中継ページ

<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/gikai-chukei.html>

編集後記

「三寒四温」寒さと暖かさが交互に繰り返す季節、役場駐車場では白梅が満開に咲き春の訪れを感じられる頃、3月定例会は18日に閉会いたしました。平成最後の年である今定例会は、平成31年度の予算を審議する大事な議会とあつて議員一人ひとり、身の引き締まる思いで臨んだ約一か月間となりました。

早いもので4年の任期が終わろうとしています。議会広報広聴常任委員会では議会報告会の開催や、「議会だより」の大幅なりニューアルなどの大きな役割を担うことができました。

「議会で何を議論しているのか」「議員は何をしているのか」

全てをお伝えすることは出来ていませんが、議会としても、工夫しながら「伝える」努力を重ねていく必要があります。

現在のメンバーでの編集は今号で最後となりますが、これからも進化する「三芳町議会だより」にご期待ください。

議会広報広聴常任委員会 委員長 安澤

委員 安澤 委員 安澤
委員 久保 委員 久保
委員 細田 委員 細田
委員 増田 委員 増田
委員 井田 委員 井田